

県生協連 NEWS

●発行：徳島県生活協同組合連合会

●発行日：2020年1月14日（No.24）

●住所：徳島県板野郡北島町中村字東堤の内30-3

●TEL：088-698-0505

●HP：<http://tokushima.kenren-coop.jp/>



「阿波ジビエ・試食会」



「なると金時メニュー」



「すだちくんポロシャツ」



「非常食・簡単1日セット」

県職員生協は、県庁舎11階の食堂と地下の売店などの事業を行っています。減少してきた事業高を少しでも増やすため、また、時代に即応した、そして、県庁ならではの特色ある事業を展開するため、新たな取り組みも始めてきました。食堂では、「ジビエフェア」、「野菜フェア」、県特産の「なると金時」や「蓮根」などを使った料理の提供、また、売店では、「すだちくんのマーク入りポロシャツ」、「防災備蓄食料」、「藍染め商品」の販売などを行っています。

目次

- p1 新年のごあいさつ（徳島県生活協同組合連合会：会長 多田道代）
- p2 会員報告 徳島県学校生活協同組合
- p3 会員報告 徳島県共済生活協同組合
- p4 会員報告 徳島健康生活協同組合、生活協同組合コープ自然派しこく
- p5 会員報告 徳島県職員生活協同組合
- p6 会員報告 徳島大学生生活協同組合
- p7 会員報告 生活協同組合とくしま生協



謹んで新春のお慶びを申し上げます

徳島県生活協同組合連合会 会長 多田道代

新年あけましておめでとうございます。2020年の幕開けです。みな様とともに、新年を迎えられますことを大変うれしく思います。会員生協のみな様には、日々お忙しい中連合会の活動に積極的にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

昨年は、平成から令和へ年号が変わり、新天皇も即位され、国民が新たな時代の到来を予感し、祝賀ムードに包まれた一年でした。また、ラグビーW杯で日本代表がベスト8入りを果たし、「ONE TEAM」が流行語大賞を受賞しました。多様性を認め、あらゆる可能性を否定せず、個々のダイバーシティを共有しようとする世の中の風潮に呼応するように、またみんなで力を合わせて何かを成し遂げようという思いにも目が向けられ、いかにも日本人的だなあと感じました。

消費税が増税になりました。軽減税率やキャッシュレス還元など数々の煩雑さを抱えながら、日々黙々と従い日常を送るのも、いかにも日本人的です。プラスチック削減が叫ばれ、マイバッグを持参するのも次第に苦でなくなり、そういうひとつひとつがエシカル消費につながり、やがて「目指すべき社会」に向けた取り組みに広がり、SDGsは共通言語になっていくでしょう。

強い者、賢い者ではなく変化できる者のみが生き残る・・・という言葉があります。もちろん変えてはいけないものも当然ありますが、その選択は、未来を見据えた私たちに常に突きつけられている大きな課題だと思います。

多様性を認め合う中で、「誰も取り残さない」という意味をみなさんと語り合う一年にしたいと思います。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



○徳島県学校生活協同組合

〒779-3233 名西郡石井町石井字石井 1845-1

TEL 088-679-1357 FAX 088-675-1315

ホームページ <http://www.tokugaku.jp>

●理事長 木津正憲 ●専務理事 山下敏光

●組合員数 8,779人 ●事業高 9,900万円

～時代の変化に対応した改革～

新年あけましておめでとうございます。

学校生協では、組合員数の減少に伴い、出資金や供給高についても毎年減少傾向にあります。これは、新任を含む若い教職員の新規組合員への加入促進が十分できていないことが原因だと考えています。そこで、若い教職員の加入促進と情報発信の強化を推進し、組合員の信頼と安心を高める事業展開に努めることで、組合員の加入を促進してきました。

まず、2019年6月からWEBサービス(マイページ・デジタル組合員証等)を導入しました。2018年末から組合員に周知を始め、2019年3月より登録を開始しました。2019年12月には、約6000名の組合員が登録を完了し、請求明細書や出資金をマイページで閲覧しています。それにより組合員の皆様の利便性が向上し、組合員サービスの向上に繋がるとともに、郵送費、印刷費、コピー機等のリース代を削減することができています。また、メールを有効に活用することにより、様々な案内や情報を今までより早く周知することができます。さらには、従来のカード組合員証から、デジタル組合員証へ変更することにより、組合員証をスマホで表示できることになり、カード組合員証を持ち歩く必要がなくなります。今後も、マイページを有効に活用することで、学校生協の新たな改革を進めていきたいと考えています。

また、教職員を支援するための福利厚生事業として、「ランニング講習会」「剣山へ登ろう」などを実施し、参加者からは大変好評を得ました。今後も組合員の皆様の要望に応えるような事業の展開を進めていきます。



【土佐礼子さんとのランニング講演会】



【剣山へ登ろう】

さらに、今年の4月より、徳島県が実施している「とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業」を支援するため、参加していきます。過疎化・高齢化が急速に進行している多くの農山漁村の活性化に向けて、組合員の皆様方の力を借りながら、地域貢献や社会貢献に積極的に取り組み、協働パートナーとして活動をしていきたいと考えています。

学校現場では、業務量の見直し等により勤務時間を軽減する「教職員の働き方改革」が、国や教育委員会により積極的に進められてきています。学校生協では、組合員の皆様のストレス解消、元気回復、勤労意欲の向上等に貢献できるような事業を積極的に挑戦していきます。また、組合員の皆様にとって満足していただける組織であり続けるため、新たな事業等に積極的に取り組み、経営改善に努めて、今後も新しい時代の変化に対応した改革を進めていきたいと考えています。

2020年がすべての組合員様にとって良い年になることを祈念いたします。



(専務理事 山下敏光)

○徳島県共済生活協同組合

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

TEL 088-676-3593 FAX 088-625-2131

ホームページ <https://www.zenrosai.coop>

[/contact/zenkoku/tokushima.html](https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/tokushima.html)

●理事長 藤岡一雄 ●専務理事 豊田浩

●組合員 89,052人 ●事業高 1.39億円

新年あけましておめでとうございます。

県生協連加盟の各生協役職員、組合員の皆様の日頃のご支援に感謝を申し上げますとともに、今年一年が皆様にとって明るく幸多き一年でありますことを祈念いたします。

徳島県共済生活協同組合は、1958(昭和33)年に共済事業を行なう生協法人として設立され、火災共済など県民の皆様にご利用をいただきました。

1976年には、各都道府県に設立された各単位共済生協の連合会組織として、全労済(全国労働者共済生活協同組合連合会)が設立されたことから、共済事業の大半を全労済に委任し、現在では「こくみん共済 coop〈全労済〉徳島推進本部」として県民の皆様に関われる存在となっています。

こくみん共済 coop〈全労済〉徳島推進本部では、命や健康、年金・介護に関わる生命系から、建物や車の保障などの損害系保障までラインアップし、約9万人の組合員が参加するまでに育てていただきました。

特に、火災共済、自然災害共済をセットした「住みいる共済」は、多発する台風や地震に備えてしっかりとした保障の自然災害共済大型タイプに加入される方も多く好評を得ています。昨年の台風被害では全国58,000人を超える共済組合員の皆様に約300億円の共済金をお届けし生活の安定に繋げていただきました。

また、こくみん共済 coop は、社会の中に少しでも多くの「たすけあいを楽しめる瞬間」を増やすために、「ENJOY たすけあい」プロジェクトを始めました。本来、たすけあいは気持ち

のいいものです。自分が助けることで相手が喜んでくれることはもっと嬉しいものです。誰もが少しでも安心して暮らせるために、助け合いの文化がもっと広まってほしい、もっと気軽に気楽な「たすけあい」文化を創ろう、ということがこのプロジェクトの目的です。

私たちは「共済」を通じて人と人との「たすけあいの輪」を結び、「安心のネットワーク」を大きく広げていきます。

本年も引き続きご支援とご協力をお願いし、年頭のご挨拶といたします。

徳島県共済生活協同組合専務理事 豊田浩
(こくみん共済 coop〈全労済〉徳島 事務局長豊田浩)



【交通安全協会へ横断旗を贈呈】



【あいあいファミサポフェスティバルへ出展】

○徳島健康生活協同組合

〒770-8547 徳島市下助任町4丁目9

TEL 088-654-8363 FAX 088-625-0058

ホームページ <http://www2.tcn.ne.jp/~hcoopt/>

●理事長 児嶋誠一 ●専務理事 吉野才治

●組合員 44,442人 ●事業高 41.6億円

新年あけましておめでとうございます。

徳島健康生協では、昨年7月から長年にわたる願いだった新病院建設が始まり、年末に基礎工事が終了しました。これから、建物部分の建設が始まり、順調に行けば、11月には新病院が完成する予定です。



まだしばらく工事が続きますので、近隣の住民のみなさま、健生病院・健生歯科を御利用のみなさまには工事車両の出入りや騒音等でご迷惑をおかけすることになりますが、何卒ご理解の上、お許しをお願い致します。

新しい健生病院では、一部東館に医療療養型病棟の機能を残しつつ、新病院では広く快適になった病床で、入院が必要な急病の治療や内科疾患、最新の手術室での外科、整形外科、眼科の手術を行います。一方で、専門特化した治療とともに、療養やリハビリにも力を入れ、安心して退院ができるような機能も果たしていきたいと考えております。

脳卒中や骨折などで手厚いリハビリが必要な方には、パワーアップした回復期リハビリ病棟で集中的なリハビリを行います。さらに、長期

の療養が必要な方には、新たに東館に療養型ベッドも備え、広く快適な環境での療養を行えるようにします。

このような多機能型の病院になることで、組合員のみなさま、地域住民のみなさまの命と健康を守り、切れ目のない医療・介護の提供をより強化することをめざします。



今後、新病院の施設面では、どんどん形がみえてきますが、それと同じように、職員の医療・福祉・介護活動や、地域での組合員さんの保健予防活動・まちづくりの活動をとおして、「地域になくてはならない健康生協」としての存在を、ますます見えるものにしていかなければいけません。

安心して住み続けられるまちづくり、地域包括ケアシステムづくりのために、生協組織の強みを生かし、県・市・地域包括支援センター・社会福祉協議会・町内会などとの協同をいっそう強めていきます。

本年もよろしくお願いいたします。

(徳島健康生協理事長 児嶋誠一)

○生活協同組合コープ自然派しこく

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目43-3

TEL 088-679-6781 FAX 088-664-8820

ホームページ <http://www.shizenha.ne.jp>

●理事長 岡田ゆかり ●専務理事 川合厚平

●組合員数 14,943人 ●事業高 13.7億円

(徳島センター内)

新年あけましておめでとうございます。

コープ自然派しこくは 2020 年で 9 年目を迎えます。徳島、オリーブ（香川）、こうち、えひめの 4 センターがお互いの個性を尊重しながら高め合い、成果を得られてきました。組合員活動も「たべる」と「くらす」を中心に活発に行われています。

福祉部門では地域と連携した介護サービスの充実をめざし、ひとりひとりを大切にした介護をすすめています。また組合員活動や、供給事業部との連携でボランティア活動も行なわれています。

組合員活動では「国産オーガニックを広げよう」をテーマに食品添加物、ネオニコチノイド系農薬、遺伝子組み換え食品、種子法の学習会が行われました。新たに、ゲノム編集された食品の表示なしでの流通や、収穫前グリホサート散布も問題視し、学習会、署名活動も行ない、今後も取り組みを進めていきます。

コープ自然派しこくでは、環境保全型農業の拡大を目指し、田んぼの生き物調査を行っています。基金を募り、2010 年より冬水田んぼに環境支払いを実施、鳴門市のツルを呼ぶお米の生産者の田んぼは、第 2 のコウノトリの里となっています。そして小松島市では、コウノトリの住みよい環境を作るために、無農薬米の生産者の協力のもと、ビオトープ作りにも取り組み始めました。今年も引き続き、日本の農業を守り、環境を守る活動を行っています。

私たちを取り巻く生活環境は危機的状況が続いています。地球温暖化や気候変動、プラスチックゴミ、依然解決しない原発事故後の放射能汚染、平和憲法の改悪など、次世代まで続く問題は山積みです。

私たちが安心して暮らせる平和な社会をめざして、コープ自然派しこくは 2020 年も活動していきます。

（理事長 岡田ゆかり）



○徳島県職員生活協同組合

〒770-8570 徳島市万代町 1 丁目 1（県庁内）

TEL 088-621-3061 FAX 088-624-0170

●組合長 久山淳爾

●副組合長兼常務理事 松永隆

●組合員数 3,868 人 ●事業高 1.33 億円

新年、明けましておめでとうございます。

県職員生協は、昭和 24 年の発足以来の長い歴史を振り返ってみますと、発足後は拡大を続け、平成 4 年には組合員数が約 5 千人、事業高が約 10 億円と、それぞれのピークを記録しましたが、その後は減少基調にあり、事業所の廃止や事業部門の閉鎖などを経て、現在は、県庁舎 11 階の食堂と地下の売店の 2 事業及び保険の取扱いなどを行っています。

このような中で、少しでも事業高を増やすため、また、県職員生協だからこその特色ある事業展開ができればと考え、食堂では、ジビエフェア、野菜フェア、県特産のなると金時や蓮根を使った料理の提供、また、売店では、防災備蓄食料の販売、すだちくんのマーク入りポロシャツの販売など、県とコラボした販売展開、さらには団体生命保険の退職後継続への拡大など、少しずつではありますが、新たな取組みも始めてまいりました。

その様子は、この県生協連 NEWS の表紙に写真入りで紹介させていただきましたのでご覧ください。県庁舎の食堂、売店とも当生協組合員以外の一般の方もご利用になれます。ただ、食堂メニューは数量が限られており、また、売店での販売は期間限定の注文販売であったりしますので、ご了承ください。

そのような状況の中、平成 30 年度決算においては、久方ぶりに事業高が増加した前年度に引き続き、僅かではありますが、2 年連続で事業高増とすることができました。しかしながら、改善しなければならないこともまだまだ多く、様々な面で創意工夫を凝らしながら、引き続き、事業の活性化と経営改善に努めていかなければ

ならないところです。

もとより当組合は、組合員が県庁職員という限られた範囲の活動ではありますが、改めて「職域による人と人との結合」、「協同互助の精神」という組合の原点に立ち返り、県職員の福利厚生の一翼を担い、組合員の皆様に愛され、親しまれる生協として、視野を広く持ち時代のニーズや組合員の要望に即した事業展開に努めていければと考えております。

県生協連の皆様方におかれましても、今後とも、県職員生協への御理解と変わらぬ御支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

(副組合長兼常務理事 松永隆)

○徳島大学生協同組合

〒770-0814 徳島市南常三島1丁目1

TEL 088-652-1073 FAX 088-626-5811

ホームページ <https://hal.seikyou.ne.jp/home/tokushima-shop1/>

●理事長 宮崎隆義 ●専務理事 高橋敬司
●組合員 9,884人 ●事業高 12.0億円

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。徳島大学生協の学生委員会の取組みを2つご紹介いたします。

五月祭で『健康フェスタ』開催

徳島大学生協学生委員会では新入生歓迎の五月祭で健康フェスタを実施しました。このイベントは大学祭のテント企画の一つとして年2回実施しています。握力、肺活量、血圧、体脂肪、立位体前屈、背筋、身長・体重を測定し、自分の健康状態を意識してもらうようにしています。

今回はアルコールパッチテストと泥酔ゴーグルの体験も行いました。泥酔ゴーグルを着けると自分が思ったようには歩けないことがわかり、飲酒時の危険について意識してもらうことができました。



自転車無料点検会を行いました

徳島大学生協では「学生総合共済」の予防活動の一環として年2回自転車無料点検会を実施しています。近年は自転車に関する事故が増えており、事故事例からは「整備不良」「交差点での確認不足」「自転車運転時の注意点やマナー」が主な要因と思われます。

この点検会では提携している地元の自転車専門店で協力をいただき、整備点検が必要かどうかの確認とすぐに対応できる簡単な整備や調整を行います。タイヤの摩耗や空気圧不足とともに、ブレーキの不良やチェーンのゆるみも多くみられました。

点検だけではなく、事故が起こりそうな大学周辺の場所を地図上でチェックをしてもらったり、自転車マナーに関する冊子を配布したりしています。





(専務理事 高橋敬司)

○生活協同組合とくしま生協

〒771-0289 北島町中村字東堤の内30-3

TEL 088-698-0505 FAX 088-698-8872

ホームページ <http://www.tokushimaseikyou.or.jp>

●理事長 大久保秀幸 ●専務理事 堺谷信行

●組合員数 115,046 人 ●事業高 99.9 億円

新年あけましておめでとうございます。今年の干支は、庚子（かのえね）です。庚（かのえ）は、植物の成長に例えると成長を終えた草木が次の世代を残すために花や種子を準備する状態を表し、子（ね）は、同じく植物に例えると、固い種に押し込められていた生命が新たに芽生えていろいろな方向に育ち始める状態です。庚子（かのえね）の状態を人間や組織に当てはめると、「庚（かのえ）」は、完成した個人・組織から不要な価値観をそぎ落とし、新しい環境へ対応する体制を整える年。「子（ね）」は、個人は自分の軸となる価値観をしっかりと持つ、組織は新たな局面に対応できる人財の育成・活用に取り組む年。といったように、過去の成果から引き継ぐべきものを維持しつつ、新たな環境や局面に向けて体制を整えていくと良い年だと言われています。ですので、新しい時代、新しい自分への変化を遂げていくということになります。

2020年は干支にあやかって、ここ数年すすめてきたことに自信を持って、これまでの成功体験をさらに強め進めていく年にしたいと思います。

新しい年のスタートにあたって、次の4つのことを大切に行きたいと思います。

一点目は、生協は地域のお母さんたちが、よりよい暮らしを願い、必要なものを手に入れるために出資しつづけた「買うための組織」です。あらためて、買う立場に立った事業を最も大切なこととして、組合員さんの声や想いに応えていける年にしていきたいと思います。

二点目は、一人ひとりの組合員さんと職員、組合員さんと組合員さんの”つながり”を大切に、ちょっとした組合員さんの変化にも気づき、日々の関わりの中で組合員さんのくらしに役立ち、喜んでいただけることをさらに強めていく年にしていきたいと思います。

三点目は、組合員さんのご協力があって、高いレベルの経営構造となっていますが、昨年度は10月からの消費税増税なども少なからず影響し、ここ数年の中では最も厳しい年となりました。あらためて、とくしま生協の行っている事業やサービスを通して、組合員のみなさんのくらしに役立ち、喜んでいただくことを通して、事業経営をさらに強め、未来発展に向けた投資も計画的に行えとくしま生協にしていきたいと思います。

四点目は、人手不足の問題は、今後、ますます深刻化してくると思います。その人手不足問題を解決していくためにも、魅力ある職場づくりは急務だと考えています。とくしま生協に就職して良かったと思ってもらえるよう採用活動は一層強化し、人財育成など人づくりを重視した職員組織を目指していく年としていきたいと思います。

以上、今年も「徳島の地になくてもならない生協」を目指して努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(理事長 大久保 秀幸)

